

サッカー

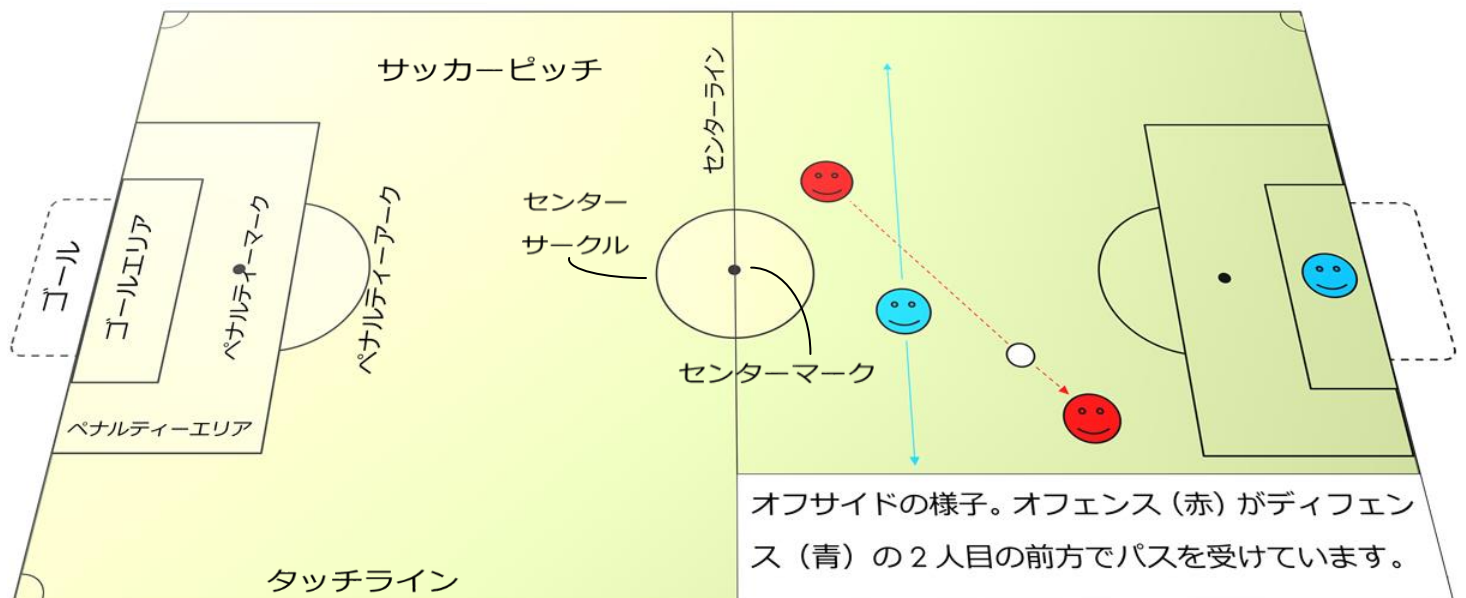


皆さん、こんにちは！国際交流員のスティーブン・キャネルです！今日は世界一人気がある団体スポーツ、サッカー、いわゆるフットボールを紹介したいと思います。

今日のような組織的なサッカーは何百年も前にイギリスで発祥しました。ボールを相手のゴールに蹴り入れるのがサッカーの基本であり、何百年もかけてルールが発展し世界各国でプレーされるようになりましたが、その基本は変わっていません。サッカーは1900年大会でオリンピックデビューをして以来、1932年大会以外の各大会で正式な種目として争われています。女子は1996年大会から参加しています。

サッカーの試合は45分ハーフで行われ、終わったときに多くの点を取ったチームの勝ちです。試合終了時点で得点と同じであったら延長戦に入ることがあります。サッカーは各チーム11人でプレーするのが基本ですが、7人以上いればプレーできます。その11人はゴールキーパー、ディフェンダー、ミッドフィルダー、そしてフォワードに分かれています。

サッカーはピッチというフィールドでプレーします。会場によりピッチの大きさが異なりますが、縦100~150ヤード幅50~100ヤードでないといけません。試合は真ん中のセンターマークで開始します。両端にゴール、ゴールの前にペナルティーエリア、ペナルティーエリアの中にゴールエリアがあります。ペナルティーエリア内でペナルティーが起こるとペナルティーキックとなります。ペナルティーエリアはゴールキーパーが手でボールを操ることが出来る場所でもあります。ゴールエリアとはゴールキック、つまりオフェンス側がボールをアウトさせたときに



守備側の選手が行うプレー再開のキック、をする場所です。ペナルティーエリアの前に、ペナルティーキックのとき蹴る選手とゴールキーパー以外の全員が入れないペナルティーアークがあります。

サッカーの主なルールは手と腕でボールを触らないこと（ゴールキーパー以外）とオフサイドです。オフサイドとは相手陣内で守備側が守るゴールラインとボールより前にいる攻撃側の選手の間守備側の選手が1人しかいない状態のことです。その位置でパスを受けるとペナルティーとなります。故意的に相手を衝突したりすることももちろんペナルティーとなります。スポーツマンシップに反する行為、例えば暴言を吐いたりするとイエローカードを与えられ、2枚をもらうとレッドカードになり退場となります。特にひどい行為だと1回でレッドカードを出されることもあります。

サッカーは多くの国にリーグがありますが、最も人気があるのはイギリスのプレミアリーグ、スペインのラ・リーガ、それからドイツのブンデスリーガです。プレミアリーグのマンチェスター・ユナイテッドやリヴァプール、ラ・リーガのリアル・マドリードやバルセロナ、ブンデスリーガのバイエルン・ミュンヘンを聞いたことがある人は多いと思います。国内リーグだけではなく、4年に1回国際トーナメントのFIFAワールドカップがあります。ワールドカップの優勝回数が最も多い国はブラジル、次いでドイツ、イタリアです。女子FIFAワールドカップではアメリカ、ドイツ、日本です。これら強豪国はオリンピックでも結果を出しており、2016年リオオリンピック男子サッカーでホストのブラジルが金を、ドイツが銀を、女子サッカーはドイツが金を獲得しました。日本は2012年ロンドンオリンピックで女子が銀メダルを手に入れました。

オリンピックの男子サッカーは年齢制限があります。23歳以下となっていますが、23歳を超えた選手3人を加えることができます。この制限のおかげで、毎回新しい選手が出ていますので、大会ごとにドラマがうまれてきます。ガンバ大阪でディフェンダーをしている豊橋出身の三浦弦太選手は24歳としてその3枠の1人として選ばれるように代表入りを目指しています。現在、男子サッカーで豊橋のホストタウン相手国であるドイツがすでに出場権を得ています。開催国の日本ももちろん出場し、男子女子代表ともにサッカーで初の金メダルを目指していますから、日本、豊橋出身の三浦選手、それからドイツを応援しましょう！